

平成20年度山梨県建築文化賞等選評

賞の名称	部門	建築物の名称	選評
建築文化賞	公共建築物等	竜王駅南北自由通路・駅舎	<p>甲斐市の玄関口、まちづくりの拠点となる施設として、新たに整備された竜王駅の南北自由通路と橋上駅舎である。建物の外観は、水晶の結晶や信玄堤の聖牛（治水柵）をイメージし、合併前の旧三町（竜王町、敷島町、双葉町）を一つにしっかり繋ぎとめる「銚（かすがい）」を表したシンプルな形態となっている。</p> <p>駅や通路の機能が上手くまとめられた建物で、駅の北側と南側をつなぐ自由通路は全面ガラス張りで採光性に富み、ガラス越しには、富士山、八ヶ岳をはじめとする周囲のやまなみが見渡せるなど、眺望を生かした開放的な空間をみごとに演出している。</p> <p>エレベーターや多目的トイレの設置などバリアフリーに配慮し、また、改札口と自由通路の間にはオープンスペースを確保して、ラッシュ時などの利用者の安全性にも配慮された計画となっている。</p>
建築文化奨励賞	住宅建築	甲府の家<radiate>	<p>甲府市市街地の比較的交通量の多い道路沿いに建つ、1階に車庫を併設した2階建ての住宅である。</p> <p>建物は、敷地形状に合わせたL型平面で、道路からの喧噪を鉄筋コンクリートの壁とエントランス空間により遠ざけている。</p> <p>2階の何力所かある内部建具や外部建具の開閉により生み出される様々なスペースは、2階のL型平面全体に異種の空間を数多く展開させ、多様な住まいの楽しみ方を提供している。</p> <p>放射状（radiate）に架けられた屋根の集成材の梁は収束する中心点を持つことで、住まい手への設計者の願い（家族のつながり）が込められた造形として表現されている。</p>
	住宅建築	ほくとはるみさん家	<p>南に富士山を望む河口湖畔の住宅地に建つ、県産材で造られた木造2階建ての事務所併用住宅である。</p> <p>「飾り気がなく、オープンで、いつも二人を意識できるあたたかな住宅」がこの住宅のコンセプトで、屋根は鋼板葺きの切り妻、白い外壁は漆喰塗りの周辺に馴染んだシンプルなデザインとなっている。</p> <p>また、内部及び外部の造作は、木、漆喰、石、コンクリート、鉄などの建築素材の持ち味を上手く引き出し、ディテールに至るまでよく吟味されている。</p> <p>1階の開放的な広い空間を創り出す大きい掃き出し窓や、2階居間の眺望を意識した窓など、それぞれ機能をもたせた開口部を設けることにより多様に外部空間を取り入れ、生活を楽しむように試みた設計は特筆すべきところである。</p>
	良好なまちなみ景観を形成している建築物等	古民家再生 明見の家	<p>富士吉田市の東側、明見地区にある延べ面積80坪、木造2階建ての130年前に建設された民家の再生である。</p> <p>二世帯が暮らす住宅で、1階を高齢者夫婦のスペースと家族のパブリックスペース、2階を若夫婦家族のスペースとして計画し、懐かしさのある民家の住文化を巧みに現在のライフスタイルに融合させている。</p> <p>昔の架構の美しさを残しながら、地の松梁や檜柱を補強材として使用するなど、設計者、施工者の卓越した技術により必要な再生、修復を行い、家主が住み続けることは評価に値するところである。</p> <p>過去、現在、未来をつなぐ古民家の活用例として意義深く、外観の色味も自然に馴染んでおり、原風景を保全、継承していくという意味で存在感のある建物である。</p>

<p>建築文化 奨励賞</p>	<p>良好なまちなみ 景観を形成して いる建築物等</p>	<p>根津記念館展示棟 「八蔵」</p>	<p>根津記念館は、鉄道王と呼ばれた根津嘉一郎の旧邸宅を戦前の姿に復元・改修したものである。  「八蔵」は記念館の施設の一つで、敷地内にあった旧第八倉庫の外観イメージを再現し、鉄筋コンクリート造一部木造及び鉄骨造の混構造で建築された平屋建ての展示棟である。  常設展示室内部は旧素材の木の架構をインテリアとして有効活用し、その本格的な架構による内部空間の演出は旧邸宅の歴史を感じさせる。  鉄筋コンクリートが主体構造でありながら、瓦や漆喰を用いて敷地内の建物と馴染ませるなど根津記念館の景観保全に配慮し、また旧青梅街道の面影が残るこの地域に調和させた外観は、原風景の保全を誘引する建物として評価される。</p>
---------------------	---------------------------------------	--------------------------	---